

< あなたの治療について >

血内 - venetoclax - Ara-C - AML - q4w

今回の治療は、venetoclax-Ara-C という治療法で、ベネクレクスタという内服薬とキロサイド（Ara-C）という注射薬を併用して治療を行います。ベネクレクスタ、キロサイドは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。2つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎治療全体の流れ

今回の化学療法は28日間が1コースとなっています。ベネクレクスタ錠は毎日服用します。また、各コースの1～10日目に皮下注射を行います。この治療を28日間ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1～28日目
①	ベネクレクスタ (抗がん剤) 1日目 100mg/body 2日目 200mg/body 3日目 400mg/body 4日目以降 600mg/body	内服	

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1～10日目	11～28日目
①	キロサイド (抗がん剤) 20mg/m <sup>2</sup>	皮下注射		お休み

★ 注射後に、注射部位が痛い、赤くなつてはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。

◎起こりやすい副作用について（頻度20%以上）

ベネクレクスタとキロサイドによる

●好中球減少 ●血小板減少 ●悪心 ●下痢 ●感染症

◎特徴的な副作用

キロサイドにおける

●眼症状

「結膜炎、目の痛み、羞明、眼脂、結膜充血、角膜潰瘍」などの症状

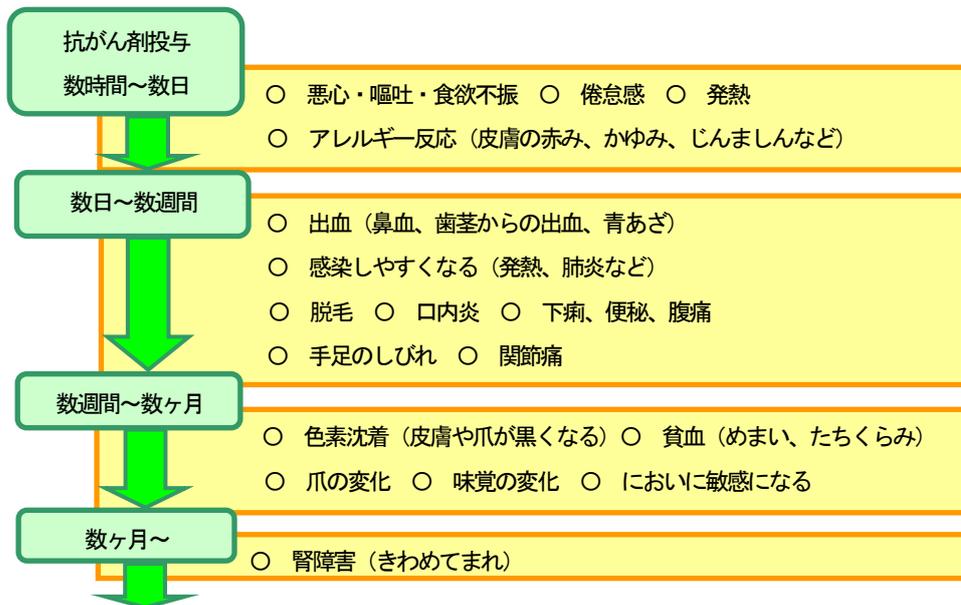
●皮膚症状

「手足末端に発疹、発赤、しばしば強い痛みを伴う赤い発疹」などの症状

\*上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

## ◎副作用の発現時期の目安

\*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。  
これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。  
また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



## ◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

## ◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋） まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

### 【ベネクレクタ】

[腫瘍崩壊症候群] 不整脈、けいれん  
[骨髄抑制] 貧血症状、発熱、出血傾向  
[感染症] 発熱、倦怠感、さむけ

### 【キロサイド】

[骨髄機能抑制に伴う血液障害] 貧血、出血しやすい、青あざができる  
[ショック] 呼吸困難、全身がぼてる、唇・舌・まぶたのはれ  
[消化管障害] みぞおちの痛みや圧痛、胸やけ、吐き気  
[急性呼吸促進症候群、間質性肺炎] 唇が青くなる、苦しくて速い呼吸、手足の爪が青くなる  
[急性心膜炎、心のう液貯留] 胸痛、発熱、呼吸困難  
[中枢神経障害] 歩行時のふらつき、麻痺、けいれん

◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。  
他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。